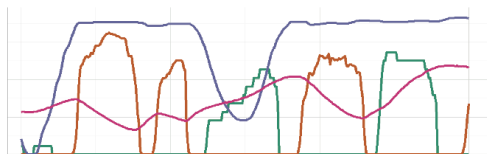


T-46 大規模運転行動コーパスのための記号化アプローチ

坂東誉司¹⁾, 竹中一仁¹⁾, 森真貴¹⁾, 谷口忠大²⁾, 宮島千代美³⁾, 武田一哉³⁾

1) 株式会社デンソー 2) 立命館大学 3) 名古屋大学

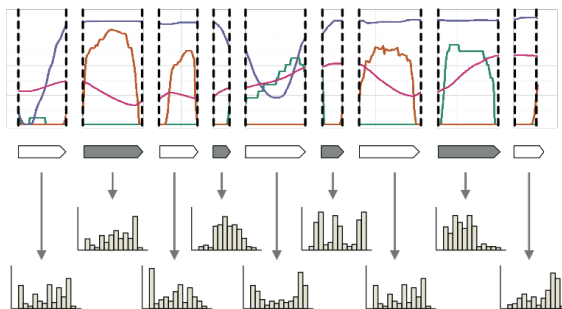


- 時系列センサ情報

- 位置情報

記号化

- HDP-HMM : センサ情報をプリミティブな離散記号列に分割
- NPYLM : プリミティブな離散記号列のチャンキング
- LDA : 各チャンクにおける運転の特徴をトピック表現



- 運転行動シンボル

- シンボル間の遷移則

- 運転トピック

- 位置情報

類似運転シーン抽出 / 運転行動認識 / 走行環境・ドライバのクラスタリングが可能であることを確認